



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月26日

上場会社名 株式会社 さが美 上場取引所 東
 コード番号 8201 URL <http://www.sgm.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平松 達夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(業務担当) (氏名) 宿野 大介 TEL 045-820-6002
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年2月21日～平成26年11月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	15,600	△5.2	△901	—	△883	—	△1,196	—
26年2月期第3四半期	16,462	△5.8	△782	—	△744	—	△917	—

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 △1,190百万円 (—%) 26年2月期第3四半期 △879百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	△30.14	—
26年2月期第3四半期	△23.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	13,626	5,635	41.4
26年2月期	13,324	6,828	51.2

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 5,635百万円 26年2月期 6,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年2月21日～平成27年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,760	△4.7	△365	—	△340	—	△770	—	△19.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	40,834,607株	26年2月期	40,834,607株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	1,162,629株	26年2月期	1,146,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	39,680,230株	26年2月期3Q	39,707,624株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の追加金融緩和により更なる円安が進行するなど、輸出関連を始めとする企業の業績改善への期待が高まりました。しかしながら、消費税増税による個人消費の低迷や急激な円安による輸入原材料価格の高騰により、景気の見通しは不透明な状況です。

当社グループにおきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年実績に対し94.8%（8億55百万円減）となりました。販売契約高においては、増税後の5～6月度と天候不順であった8月度が特に苦戦し、当第3四半期連結累計期間の販売契約高は、前年比で94.6%となりました。

きもの事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の販売契約高は前年比96.0%、売上高は前年比96.3%と下廻りました。これは、消費税増税後、客数の減少が続く、客単価の改善では補いきれなかったことによります。

㈱さが美のきもの事業においては、店舗に顧客をご招待する企画販売会が、販売契約高で100.9%と前年実績を上廻ったものの、平常時の店頭および展示販売会の客数減により、販売契約高は合計で前年比93.7%と悪化いたしました。

ホームファッション事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年比で86.2%と下廻りました。これは、きもの事業と同様に、増税間際はリビングキッチン関連を中心に駆け込み需要が見られたものの、その後の反動が大きかったことや、夏場の悪天候などによります。

また消費税による売上の下ぶれリスクに対応するため、㈱さが美においては全社あげてコストの見直しに努めた結果、連結でも前年より販売費及び一般管理費は3億93百万円、3.9%減少し、売上高の減少をカバー致しました。

店舗面におきましては、きもの事業については、デベロッパーの建て替えに伴い3店舗を、効率の悪化により1店舗を、それぞれ閉鎖し、デベロッパーの長期改装ならびに契約満了による閉鎖の代替店として3店舗を、デベロッパーの新設により1店舗を、それぞれ出店いたしました。ホームファッション事業は、新設SCならびに既設SCにそれぞれ1店舗を出店し、効率の悪化により2店舗を閉鎖いたしました。また、業態の変更により3店舗を閉鎖し、新店舗ブランドライフボックスとして1店舗出店いたしました。これにより当第3四半期連結会計期間末における店舗数は、㈱さが美220店舗、㈱東京ますいわ屋46店舗、グループ合計で266店舗となっております。業態別店舗数は、きもの事業204店舗、ホームファッション事業62店舗、となっております。

なお、通期業績予想の修正に伴い、共用資産の減損として1億31百万円を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益156億円（前年同四半期比5.2%減）となり、利益面においては、営業損失9億1百万円（前年同四半期比1億18百万円の悪化）、経常損失8億83百万円（前年同四半期比1億38百万円の悪化）、四半期純損失11億96百万円（前年同四半期比2億78百万円の悪化）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、136億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1百万円増加しました。これは主として、商品および前払年金費用が増加したことなどによるものであります。

負債については、79億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億93百万円増加しました。これは主として、短期借入金および前受金が増加したことなどによるものであります。

純資産については、56億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億92百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の景気動向につきましては、消費税増税による国内消費の減速と急激な円安による原材料価格の高騰によって、先行き不透明な状況です。

当社グループといたしましては、期初に決めました総合戦略に沿って、営業力の強化と利益体質への転換に向けた構造改革を進めることによって、前年から利益改善できるよう、全力を尽くしてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在して
おります。

当社グループは親会社であるユニーグループ・ホールディングス株式会社の支援のもと、きもの事業を核とした事
業の再構築および経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めておりました
が、きもの事業を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、平成24年2月期連結会計年度より3期連続して営業損
失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または
状況が存在しております。

このような状況に対して当社グループは、店舗のサービスレベルの向上と付加価値の高い商品の提供、そして個々
のお客さまの特性やニーズに合わせた営業活動をおこなうことによって、当該状況の解消に取り組んでまいります。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	541,164	463,467
受取手形及び売掛金	1,083,643	1,047,465
商品	2,133,680	2,416,542
貯蔵品	8,289	5,647
その他	1,241,607	1,192,488
貸倒引当金	△468	△468
流動資産合計	5,007,917	5,125,144
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	310,306	318,690
土地	3,125,786	3,177,101
その他(純額)	52,695	59,745
有形固定資産合計	3,488,788	3,555,536
無形固定資産	14,496	14,149
投資その他の資産		
前払年金費用	216,535	368,505
差入保証金	2,895,919	2,815,575
その他	1,833,774	1,851,262
貸倒引当金	△132,504	△103,713
投資その他の資産合計	4,813,724	4,931,629
固定資産合計	8,317,009	8,501,315
資産合計	13,324,927	13,626,460

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成26年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,092,013	1,174,656
短期借入金	1,700,000	2,600,000
未払法人税等	167,050	99,620
前受金	1,391,153	1,955,998
賞与引当金	24,000	56,200
資産除去債務	18,914	15,714
その他	1,055,550	1,025,080
流動負債合計	5,448,682	6,927,269
固定負債		
退職給付引当金	408,416	368,669
資産除去債務	377,466	371,546
その他	262,320	323,220
固定負債合計	1,048,203	1,063,436
負債合計	6,496,885	7,990,706
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217,235	9,217,235
資本剰余金	405,057	405,057
利益剰余金	△1,985,908	△3,182,053
自己株式	△351,109	△352,645
株主資本合計	7,285,275	6,087,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,124	98,520
土地再評価差額金	△550,359	△550,359
その他の包括利益累計額合計	△457,234	△451,839
純資産合計	6,828,041	5,635,754
負債純資産合計	13,324,927	13,626,460

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年2月21日 至平成25年11月20日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年2月21日 至平成26年11月20日）
売上高	16,327,284	15,471,782
売上原価	7,168,866	6,819,224
売上総利益	9,158,418	8,652,557
営業収入	134,877	128,502
営業総利益	9,293,295	8,781,059
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,870,749	3,752,533
賞与引当金繰入額	52,600	56,200
退職給付費用	117,765	129,339
賃借料	2,285,305	2,239,346
その他	3,749,352	3,504,684
販売費及び一般管理費合計	10,075,772	9,682,104
営業損失（△）	△782,476	△901,044
営業外収益		
受取利息	149	157
受取配当金	3,564	3,888
仕入割引	17,945	17,342
保険解約返戻金	12,641	—
その他	19,661	9,429
営業外収益合計	53,963	30,817
営業外費用		
支払利息	11,868	6,145
支払補償費	1,107	3,904
その他	2,783	2,913
営業外費用合計	15,759	12,963
経常損失（△）	△744,273	△883,190
特別利益		
固定資産売却益	229	177
投資有価証券売却益	704	—
店舗閉鎖損失戻入益	18,465	—
特別利益合計	19,399	177
特別損失		
固定資産売却損	—	2,789
固定資産除却損	7,021	1,096
減損損失	28,351	136,447
特別損失合計	35,373	140,332
税金等調整前四半期純損失（△）	△760,246	△1,023,346
法人税、住民税及び事業税	96,964	115,901
法人税等調整額	60,284	56,897
法人税等合計	157,248	172,798
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△917,495	△1,196,145
四半期純損失（△）	△917,495	△1,196,145

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△917,495	△1,196,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,963	5,395
その他の包括利益合計	37,963	5,395
四半期包括利益	△879,531	△1,190,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△879,531	△1,190,749
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。